

2009年度

科目名	ゼミナール I		
担当教員	児玉 公正		
配当	人社3	コード	31100
開期	通年	講時	水曜日1限
単位数	4		
授業テーマ	野球とソフトボールの競技力向上のスポーツ科学		
目的と概要	野球・ソフトボールは守備側の投球からはじまり、それを攻撃側が打撃して走り、それに対し守備側は防御する、というスポーツである。ゼミではそれぞれの運動形態となる「投」、「打」、「守」の技術を理論的に確認し、指導者に必要な情報を獲得する場としたい。各情報は科学に裏付けられたものを極力採用し、4年次に取り組む卒論の課題へと発展する。		
成績評価法	小まめにレポートを課す。あわせて、授業意欲や出席状況を加味し総合的に評価する。		
テキスト	バッティングの正体(手塚一志、ベースボールマガジン社) 手塚一志の上達道場 バッティングの巻(手塚一志、ベースボールマガジン社) 和田の130キロ台はなぜ打ちにくい(佐野 真、講談社現代新書) うまくなる野球(新日本石油野球部、西東社)		
参考書	随時紹介する		
履修に当たっての注意・助言	野球やソフトボールの技術に関し指導することを意識し話題を提供する。これからの指導者は、非科学的な情熱と科学的な情報とを武器に、スポーツの楽しさとすばらしさを子どもたちに伝えてもらいたい。これがゼミの根幹である。		
講義計画			
<p>前期 手塚一志のうねり打法</p> <p>第1回 オリエンテーション 何を、どのように学ぶか</p> <p>第2回 ダブルスピン打法</p> <p>第3回 揺らいで</p> <p>第4回 踏んで・シンクロ</p> <p>第5回 乗せて</p> <p>第6回 運んで</p> <p>第7回 割れて</p> <p>第8回 うねって</p> <p>第9回 すくい取る</p> <p>第10回 上達への近道</p> <p>第11回 クオ・メソッドへの道</p> <p>第12回 骨盤帯分割、かませ骨盤、隠し</p> <p>第13回 ブラッシング、脊柱ヨジリ、四肢の連結操作</p> <p>第14回 インコース対応</p> <p>第15回 アウトコース対応</p> <p>後期 和田130キロ台はなぜ打ちにくい</p> <p>第16回 打てない130キロ台の謎</p> <p>第17回 140キロを出すための投球理論</p> <p>第18回 和田毅の変遷</p> <p>第19回 大学での活躍</p> <p>第20回 ストレートの秘密</p> <p>第21回 和田毅の卒業論文</p> <p>うまくなる野球</p> <p>第22回 内野手のスローイングの基本</p> <p>第23回 内野手のゴロとフライ捕球の基本</p> <p>第24回 内野手ポジション別基本</p> <p>第25回 外野手のスローイングの基本</p> <p>第26回 外野手のゴロとフライ捕球の基本</p> <p>第27回 捕手の構えと送球</p> <p>第28回 捕手の守備</p> <p>第29回 グランドでの高速度ビデオカメラによる撮影</p> <p>第30回 パソコンによる動作分析ソフトの活用</p>			